

CP-6-Ⅲ-20	薬理学の基礎と呼吸器疾患	第6学年	前期 選択	1単位
担当者	酒井 寛泰			
一般目標 (GIO)	薬学教育モデル・カリキュラム (コアカリ) における当該分野の基本的な知識を習得するために、知識を整理し、自ら学習する方法・習慣を身につける。			
到達目標 (SBOs)	薬学教育モデル・カリキュラム (コアカリ) における基本的な知識を習得するために、当該分野の領域を対象とし、 1. 基本的な知識を自ら学習する方法を身につける。 2. 当該分野の基本的知識を自ら学習する習慣を身につける。 3. 当該分野に関する知識を整理し、問題を解く力を身につける。			
受講心得・準備学習等	単に知識を暗記するだけではなく、十分理解した上で、長期記憶することが重要である。各回の講義の後に、1時間程度、復習することが望ましい。			
事後学習・復習等	配布するプリントをもとに、講義の中で触れたポイントや問題を復習し、整理しておくことが望ましい。			
オフィスアワー	原則講義のある日の16時から18時。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う。
回	項目	内容
1	用量と作用の関係	用量 (濃度) ・反応曲線、ED50、LD50 等
2	標的分子	受容体、酵素、チャネル、トランスポーター
3	受容体	刺激薬 (アゴニスト) と遮断薬 (アンタゴニスト)
4	受容体	刺激・遮断による生理反応
5	受容体	代表的な細胞内情報伝達系とその活性化による整理反応
6	自律神経系に作用する薬	交感神経系に作用する薬
7	自律神経系に作用する薬	交感神経系に作用する薬
8	自律神経系に作用する薬	副交感神経系に作用する薬
9	自律神経系に作用する薬	副交感神経系および自律神経節に作用する薬
10	呼吸器疾患	呼吸器の疾患の概論とその治療
11	呼吸器疾患	呼吸器の疾患の概論とその治療
12	アレルギー疾患	アレルギー疾患の概論とその治療
13	テスト	国家試験出題形式によるテスト

成績評価の方法	テストにより評価する。
成績評価の基準	テストの点が 60% 以上を合格する。
教科書	プリントを用いる。
参考書など	薬理学 2016 (薬学必修講座) 評言社、疾患薬理学 ネオメディカル、NEW 薬理学 南江堂 等、講義中に適宜提示する。